

みんなが主役の大運動会 田尻の絆永遠に



家族で参加「家族徒競走」



児童らによる棒踊り



倉津美咲音さんの選手宣誓



全校児童による紅白対抗綱引き



壮年・消防団も出動



6年生親子種目「親子の絆」



全校児童による紅白対抗玉入れ



50歳組も元気に参加



みんなて参加「卒業生思い出リレー」

田尻小学校を卒業し50歳組として参加した田ノ上啓一さんは「もともと田尻と川床の人は、保育園と中学校でも一緒に過ごし、小学校だけが分かれていたので、同窓意識は高かった。小学校は離れていても同級生の大切さを再認識したこの節目の時が、最後の運動会でとても残念だが、10年ぶりに同窓会を兼ねて集まることのできて良かった」と感慨深げでした。

最後の応援団長を務めた紅組の松永侑奈さんと白組の平敷聡汰さんは「最後の運動会で緊張しました。閉校は寂しいけれど、大勢の人が来て、一緒に盛り上げてくれたのでとてもうれしかった。一生の思い出になりました」と話しました。

昼食後には、閉校記念として航空写真撮影を実施。全校児童や保護者のみならず、地域住民や50歳組、卒業生らみんなが集まり、グラウンドに沿って円を描き、撮影するセスナ機が通るたびに、手を振りながら記念撮影を楽しんでいました。

撮影後は児童による棒踊りを披露した後、その他の種目も歓声に包まれながら進行。運動会の目玉種目である全校児童による紅白対抗リレーで幕を閉じました。

10月2日、田尻小学校（引地俊一校長、全校児童25人）で秋季大運動会が開催されました。

同校は、来年3月に閉校し、4月からは川床小学校と統合することが決定しており、この日が最後の運動会となりました。

開会式では、6年生の倉津美咲音さんが「今年が田尻小学校最後の運動会になりますが、田尻小学校の歴史と伝統に誇りを持ち、笑顔いっぱい競技し、運動会のスローガン『みんなが主役の大運動会田尻の絆永遠に』のとおり25人の絆の力を合わせ、勇気と感動を与えられるように元気いっぱい競技することを誓います」と宣誓し、競技が幕を開けました。

この最後の運動会には、保護者のほか、田尻、火ノ浦集落の地域住民や同校の卒業生など多くの人が駆け付け、親子リレーや地区対抗綱引き、歴代卒業生によるリレーなどに参加し、児童らと共に汗を流しながら、それぞれが最後の運動会を胸に刻んでいました。

50歳の田尻小卒業生が参加する種目には、統合する川床小学校の50歳卒業生も競技に参加し、その後一緒に餅投げを行って会場を盛り上げていました。